

平成15年度・上半期那覇市の財政



(平成15年9月30日現在)
財務部 財政課 ☎862-9938

安心して生活できる環境づくり

四世代交流運動会で元気に体操する市民のみなさん



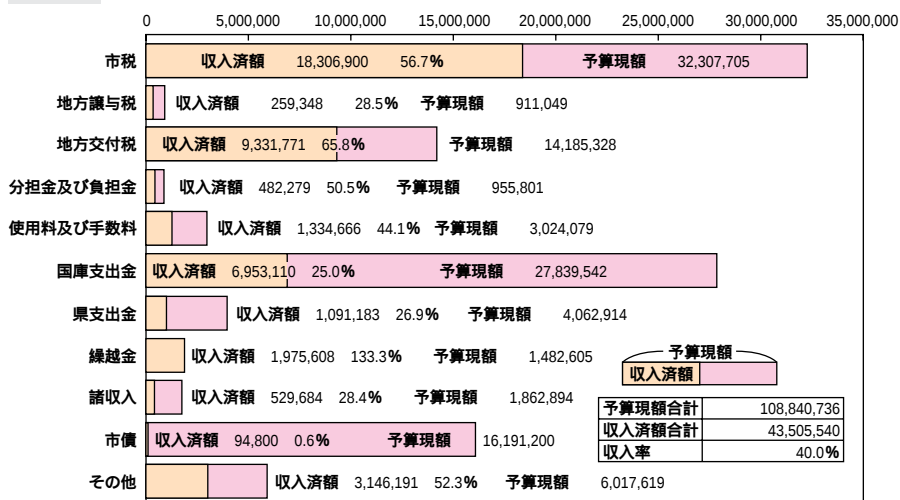
1.歳入及び歳出の状況(単位:千円)

区 分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計(1)	108,840,736	43,505,540	40.0%	41,841,523	38.4%
特別会計(2)	81,769,436	30,778,063	37.6%	32,044,041	39.2%
土地区画整理事業	4,745,465	1,262,915	26.6%	945,746	19.9%
下水道事業	7,285,617	2,087,100	28.6%	2,649,679	36.4%
国民健康保険事業	30,748,483	10,653,277	34.6%	12,054,271	39.2%
老人保健	24,179,771	10,514,685	43.5%	10,701,871	44.3%
市街地再開発事業	321,884	799	0.2%	2,382	0.7%
介護保険事業特別会計	14,488,216	6,259,287	43.2%	5,690,092	39.3%
合計(1)+(2)	190,610,172	74,283,603	39.0%	73,885,564	38.8%

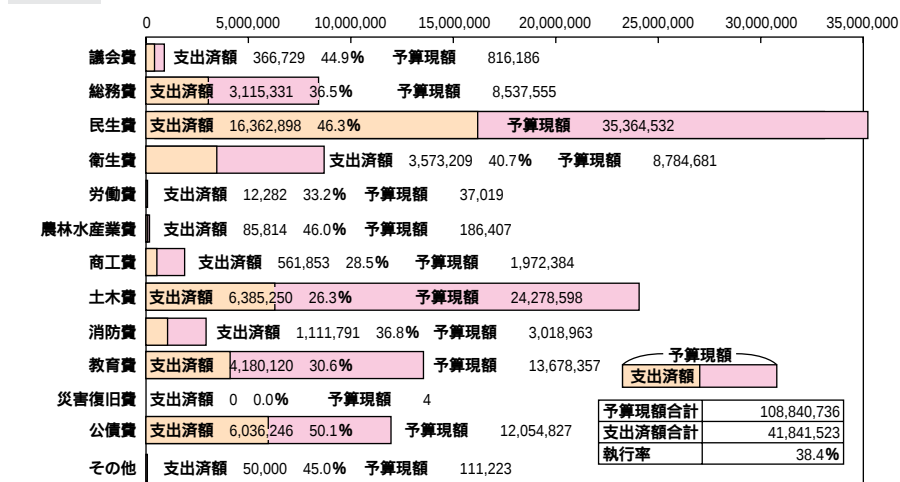
区 分	収入			支出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	執行率
病院事業						
収益的収支	8,985,360	4,416,513	49.2%	8,885,558	3,751,858	42.2%
資本的収支	771,888	297,322	38.5%	994,487	170,031	17.1%
水道事業						
収益的収支	9,042,215	4,369,343	48.3%	8,716,206	2,979,657	34.2%
資本的収支	495,571	15,621	3.2%	1,872,800	393,773	21.0%

2.一般会計歳入及び歳出の状況 (単位:千円)

歳入 このようなお金が入ります。



歳出 このような目的で使います。



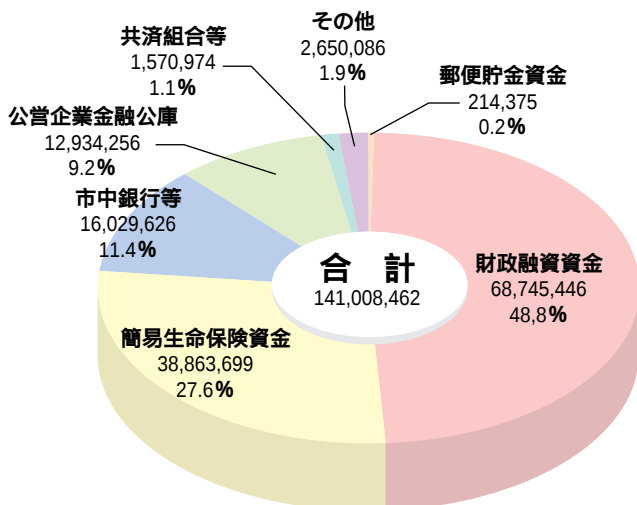
教育研究開発事業、雇用対策を推進
平成15年度予算は、行政課題の山積するなかで、国庫支出金や市税等の収入の伸びが期待できない厳しい財政状況での編成となりました。
予算編成にあたっては、これまで以上に行政改革を推進し、各種施策の優先順位について厳しい選択を行い、予算の計画的、重点的な配分に努め、福祉、教育、環境、雇用など、本市の諸課題の解決に向けて編成となっております。
平成15年度の主な事業として、福祉においては、急速に進展する少子高齢化への対応として、待機児童の解消のために認可保育園を整備するとともに、高齢者が安心して生活できる環境づくりのため、独居老人の安否確認を行う「ふれあいツール事業」を実施します。
教育においては、新都市地区に小学校及び幼稚園の建設に着手します。また、児童生徒の英語によるコミュニケーションの能力の向上を図るため、小学校教育から英語を教科として導入する、教育研究開発事業を全小学校で行い、若年者雇用を促進するため、国のトライアル雇用後、若年者を常用雇用へ移行する事業主をサポートする「環境においては、ポットと移行する事業主をサポートする」ための、那覇市「市の財産」が前年度同様に比べ増減した理由
①土地の減少(5,367㎡)主に水道局用地の売却によるものです。
②建物の増加(11,617㎡)は、主に母子生活支援センターや公園施設の建設によるものです。
③基金の増額(739,264千円)は、主に国民健康保険基金、退職手当基金、減価基金の積立によるものです。

3.市の財産(カッコ内は、対前年同期比較)

土地(学校、公園など)	2,727,860㎡	(-5,367)
建物(学校、図書館など)	964,143㎡	(+11,617)
基金(特定の目的のための資金の積立など)	22,273,058千円	(+739,264)
有価証券(株券)	3,609,352千円	(0)

4.一時借入金の現在額 0千円

5.市債残高(単位:千円) このようなところから借りています。



3.4.5は企業会計を含みます。

市では屋上緑化工事費の一部を助成します。(花とみどり課) ☎951-3225